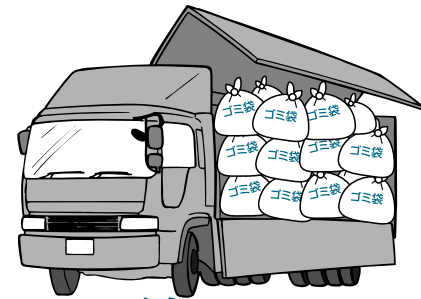


4人家族が1年に排出する  
ごみの量は約1.6トン



そのごみを処理するときに  
排出される二酸化炭素は、なんと約1.4トン

## ごみを出さない工夫をしましょう

### 「捨てようかな、と思ったとき」

- ・他の用途に使うか、必要な人にゆずる。
- ・修理をして使う。
- ・分別してリサイクルに出す。



### 「買い物をするとき」

- ・買う前に、本当に必要かどうか、もう一度考える。
- ・マイバッグを持参してレジ袋は断わる。
- ・エコマーク商品など、地球にやさしい商品を選ぶ。
- ・買ったものは最後まで使い切る。

## ～環境の家計簿「エコライフノート」～



現在、市の環境都市推進課と各公民館で「エコライフノート」を配布しています。  
エコライフノートは、家庭での電気・ガソリンなどのエネルギー消費やごみの排出などをチェックし、家庭生活が環境にどのくらい影響を与えているかを知ることができるものです。皆さんもぜひご活用ください。

## 「環境の日」と「環境月間」

1972年6月5日、スウェーデンのストックホルムで「国連人間環境会議」が開催されました。これを記念して定められたのが「環境の日」。そして、この日に基づいて環境月間が設けられました。  
**地球規模の「環境問題」**  
現在、わたしたちはさまざまな環境問題に直面しています。大気汚染や水質汚濁などの「公害問題」、緑の減少などによる「自然環境の問題」、さらに地球規模で広がっている地球温暖化、オゾン層の破壊、海洋汚染などの「地球環境問題」。  
100年後には、平均気温は最大58度上昇し、海面の上昇、水稲の生育障害、海洋汚染など生態系への悪影響が予測されています。今のままの暮らしを続けると、取り返しのつかないことになるのです。



## 第1歩は身近なところへ

「そんな大規模な話をされても…」  
環境は、地球規模で考えなければならぬ問題です。しかし、その規模の大きさから、つい敬遠しがちになり、いつしか人ごとになります。  
でも、わたしたちが地球に住んでいる以上、決して無関係ではありません。地球を良くするのも悪くするのも、わたしたちの小さな行動からスタートしているのです。

## 環境は、家庭から。そして、安城から

これから夏にかけては、1年で最もエネルギー消費量が多くなる季節です。みなさんも家族で環境のことについて話し合い、身近な省エネ・省資源などに取り組み、地球温暖化の大きな要因である二酸化炭素の排出量を減らしましょう。まずは、家庭から。そして、環境首都を目指す安城から始めましょう。

# 6月は環境月間 『環境首都・安城』 の実現をめざして

もう一度身のまわりの生活を見つめなおしてみませんか？

問い合わせ▶  
環境都市推進課  
環境保全課